

高教組永年勤続を祝う会

11月15日にサンセールで開催し、55人(本部含)の出席がありました。会は、小野寺委員長挨拶に続き、昼食を食べながらの歓談となりました。午後からの県民会館での県主催の表彰式があり、会食は短時間とはなりましたが、参加した皆さんは久しぶりに会った同期採用の方々や元同僚の方々などと、採用当時や勤務校での思い出話に花を咲かせました。また、昨今の定年延長や働き方改革についても話題が及び、関心の高さがうか



がわれました。永年勤続者を代表して、盛岡一高分会の大沼英和さんと、大野高分会の屋形場哲也さんから組合活動や教員生活の思い出をお話いただき、会は更に盛り上がりました。皆さん、永年勤続おめでとうございます。



盛岡一高分会の大沼英和さん



大野高分会の屋形場哲也さん

リフレッシュ休暇(キャリアアップ休暇)を取得しましょう!

勤続16~17年めで連続する3日間

勤続26~27年めで連続する5日間

実習教諭部 第45回経験交流学習会

11月15日に実習教諭部第45回経験交流学習会を釜石市で開催し、38人が参加しました。全体会では釜石観光ボランティアガイドで防災士の瀬戸元さんより、「東日本大震災の教訓」と題した講演がありました。2000年代に入り、津波防災の対応が急務となり、釜石東中学校の「防災学習・津波部門」の地域担当者として防災教育にとりくみ、子どもたちの防災意識を高めたことで釜石の奇跡につながったことや当時の状況などの話を聞きました。

全体会後は3つの分散会に分かれ、2つの分散会では「私たちの職場の実態と課題」をテーマにもうひとつの分散会では理科実験について実践例を交えながらの学習会となりました。私たちの職場の実態と課題をテーマとした分散会ではレポート発表とレポートの中身に沿った意見交換や各校で抱える問題や課題などを共有す

ることができました。

理科実験の分散会ではたくさんの資料を準備して頂き、生徒が理解しやすくするために工夫した実験材料の紹介や理科実習教諭の抱える問題や今後の課題などを共有しました。理科実験の分散会参加者からは、多くの情報を得ることができもっとたくさんの方々に聞いてもらえればといった再度開催を望む声もありました。理科の実習教諭は各校一人の学校がほとんどで、なかなか教科間での情報交流が持てない、または縮小に向かう懸念もあるなかで有意義な学習会となりました。

実習教諭部は少数職種故に課題も多く、今後さらに団結してとりくんでいかなければならないことを再認識することができた経験交流学習会でした。